

2023年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年10月12日

上場会社名 株式会社スタジオアリス 上場取引所 東
 コード番号 2305 URL http://www.studio-alice.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧野 俊介
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 竹崎 周太郎 TEL 06-6343-2600
 経営企画部ゼネラルマネージャー
 四半期報告書提出予定日 2022年10月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年2月期第2四半期の連結業績（2022年3月1日～2022年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年2月期第2四半期	16,381	△6.7	87	△94.6	87	△94.7	△141	ー
2022年2月期第2四半期	17,559	28.8	1,624	ー	1,652	ー	849	ー

(注) 包括利益 2023年2月期第2四半期 △101百万円 (ー%) 2022年2月期第2四半期 1,293百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年2月期第2四半期	△8.31	ー
2022年2月期第2四半期	50.05	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年2月期第2四半期	41,851	28,232	64.4
2022年2月期	43,170	29,568	65.6

(参考) 自己資本 2023年2月期第2四半期 26,959百万円 2022年2月期 28,301百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年2月期	ー	0.00	ー	70.00	70.00
2023年2月期	ー	0.00			
2023年2月期（予想）			ー	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年2月期の連結業績予想（2022年3月1日～2023年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	10.6	6,600	9.7	6,600	9.4	3,750	3.8	220.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年2月期2Q	17,185,650株	2022年2月期	17,185,650株
② 期末自己株式数	2023年2月期2Q	201,706株	2022年2月期	201,657株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年2月期2Q	16,983,979株	2022年2月期2Q	16,983,999株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(追加情報)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
3. その他	12
継続企業の前提に関する重要事象等	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、年初から新型コロナウイルスの変異株の急速な拡大に加え、ロシア・ウクライナ情勢に起因した原油や原材料価格の高騰、米国の金融引き締めから急速な円安が進むなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループの主力である写真事業において、新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底した店舗運営をおこなってまいりましたが、感染力が非常に強いオミクロン株の感染拡大（いわゆる「第6波」、「第7波」）の影響を受け、特に第7波においては、お子様の感染者数が増加したことにより、撮影件数が前年同期を下回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は16,381百万円（前年同期比6.7%の減少）となり、各利益につきましては、売上高が前年を下回ったことに加え、現在、強力で推し進めている成人式撮影・振袖レンタルサービス『ふりホ』の衣装投資の増加に伴う減価償却費の増加や、原材料価格、並びに、光熱費の上昇等によって売上原価が前年同期を上回り、営業利益は87百万円（前年同期比94.6%の減少）、経常利益は87百万円（前年同期比94.7%の減少）、親会社株主に帰属する四半期純損失は141百万円（前年同期は849百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

(写真事業)

写真事業は、新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底した上で、「早撮り七五三キャンペーン」および「七五三お出かけ着物レンタル予約」施策等を推進するとともに、引き続き成人式撮影・振袖レンタルサービス『ふりホ』のご予約獲得に注力いたしました。

国内こども写真館の出店状況は、移転1店舗、退店5店舗をおこない、ショッピングセンター内の区画移動を含む改装を25店舗実施いたしました。

その結果、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、国内こども写真館465店舗（直営店舗456店・フランチャイズ店舗9店）、韓国の子会社におけるこども写真館2店舗を含め、467店舗となっております。

以上の結果、報告セグメントにおける写真事業の売上高は16,353百万円（前年同期比6.8%の減少）となり、セグメント利益は149百万円（前年同期比91.2%の減少）となりました。

(衣装製造卸売事業)

衣装製造卸売事業は、連結子会社の株式会社京都豊匠、および、その子会社である上海豊匠服飾有限公司において、引き続き当社が強力で推し進めている『ふりホ』に関わる衣装・小物の仕入原価低減に注力するとともに、当社向け衣装の更なる生産効率の向上によるコスト低減に努めました。

以上の結果、報告セグメントにおける衣装製造卸売事業の売上高は1,032百万円（前年同期比52.1%の減少）となり、セグメント利益は4百万円（前年同期比98.1%の減少）となりました。

(2) 財政状態の状況

① 資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比べ1,319百万円減少の41,851百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の減少等により、前連結会計年度末と比べ1,047百万円減少の21,871百万円となりました。

固定資産は、建物及び構築物(純額)の減少等により、前連結会計年度末と比べ271百万円減少の19,979百万円となりました。

② 負債の状況

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ16百万円増加の13,618百万円となりました。

流動負債は、短期借入金の増加等により、前連結会計年度末と比べ328百万円増加の8,431百万円となりました。

固定負債は、「その他」に含まれる長期リース債務の減少等により、前連結会計年度末と比べ312百万円減少の5,187百万円となりました。

③ 純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ1,335百万円減少の28,232百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び前連結会計年度の剰余金の処分(配当金支払い)等によるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ2,082百万円減少し16,622百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果減少した資金は、34百万円(前年同期は2,606百万円の増加)となりました。主な内訳は未払消費税等の減少額448百万円、法人税等の支払額1,334百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、2,082百万円(前年同期は2,753百万円の減少)となりました。主な内訳は、写真スタジオの既存店の改装・設備追加等にかかる支出2,089百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果増加した資金は、4百万円(前年同期は1,699百万円の増加)となりました。主な内訳は、短期借入金の純増加額1,400百万円、配当金の支払額1,188百万円等によるものです。

(4) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年4月12日発表の「2022年2月期 決算短信」に記載の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,165,761	17,082,853
受取手形及び売掛金	844,434	1,207,389
棚卸資産	1,607,333	1,846,265
その他	1,312,754	1,744,919
貸倒引当金	△11,351	△10,352
流動資産合計	22,918,932	21,871,075
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,201,638	6,987,642
その他(純額)	6,133,688	6,139,156
有形固定資産合計	13,335,327	13,126,799
無形固定資産	997,620	941,435
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,192,218	3,173,078
その他	2,951,105	2,963,190
貸倒引当金	△224,712	△224,537
投資その他の資産合計	5,918,611	5,911,731
固定資産合計	20,251,559	19,979,965
資産合計	43,170,491	41,851,041
負債の部		
流動負債		
買掛金	300,462	391,457
短期借入金	-	1,400,000
未払法人税等	1,484,335	212,038
賞与引当金	205,794	388,326
ポイント引当金	107,260	123,340
その他	6,004,652	5,915,933
流動負債合計	8,102,506	8,431,096
固定負債		
退職給付に係る負債	1,203,656	1,230,117
資産除去債務	1,654,160	1,634,390
その他	2,641,876	2,323,129
固定負債合計	5,499,692	5,187,637
負債合計	13,602,199	13,618,733

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,885,950	1,885,950
資本剰余金	2,055,449	2,055,449
利益剰余金	24,215,835	22,840,731
自己株式	△276,464	△276,578
株主資本合計	27,880,770	26,505,552
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	266,180	245,874
為替換算調整勘定	154,772	208,112
その他の包括利益累計額合計	420,952	453,986
非支配株主持分	1,266,569	1,272,768
純資産合計	29,568,292	28,232,308
負債純資産合計	43,170,491	41,851,041

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)
売上高	17,559,744	16,381,062
売上原価	12,853,063	13,131,980
売上総利益	4,706,680	3,249,081
販売費及び一般管理費	3,081,967	3,161,112
営業利益	1,624,713	87,968
営業外収益		
受取利息	751	744
受取配当金	10,090	10,571
受取家賃	11,259	10,897
受取補償金	18,593	408
新型コロナウイルス感染症による助成金収入	15,812	1,697
企業立地奨励金	-	11,002
雑収入	9,468	13,521
営業外収益合計	65,976	48,843
営業外費用		
支払利息	11,119	12,573
店舗解約損	15,465	-
為替差損	11,009	34,852
雑損失	503	1,401
営業外費用合計	38,098	48,826
経常利益	1,652,591	87,985
特別利益		
固定資産売却益	173	256
特別利益合計	173	256
特別損失		
固定資産除売却損	236	-
固定資産廃棄損	125,219	52,467
減損損失	37,324	63,442
新型コロナウイルス感染症による損失	44,638	-
特別損失合計	207,418	115,909
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,445,345	△27,667
法人税、住民税及び事業税	611,439	115,456
法人税等調整額	△40,023	△8,126
法人税等合計	571,416	107,329
四半期純利益又は四半期純損失(△)	873,929	△134,996
非支配株主に帰属する四半期純利益	23,935	6,220
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	849,993	△141,217

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	873,929	△134,996
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	399,893	△20,327
為替換算調整勘定	20,123	53,340
その他の包括利益合計	420,016	33,013
四半期包括利益	1,293,946	△101,983
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,270,010	△108,182
非支配株主に係る四半期包括利益	23,935	6,199

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,445,345	△27,667
減価償却費	1,703,010	1,908,395
のれん償却額	399	559
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,174	△1,174
賞与引当金の増減額(△は減少)	153,156	182,340
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	29,875	26,461
受取利息及び受取配当金	△10,842	△11,315
支払利息	11,119	12,573
為替差損益(△は益)	78	△2,277
固定資産売却損益(△は益)	63	△256
固定資産廃棄損	125,219	52,467
減損損失	37,324	63,442
売上債権の増減額(△は増加)	△328,850	△356,779
棚卸資産の増減額(△は増加)	452,704	△216,950
仕入債務の増減額(△は減少)	74,584	88,430
未払消費税等の増減額(△は減少)	△217,059	△448,722
前受金の増減額(△は減少)	370,521	454,395
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△384,833	△419,746
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△10,854	△18,098
その他	79,254	15,215
小計	3,525,045	1,301,292
利息及び配当金の受取額	10,199	10,673
利息の支払額	△11,119	△12,573
法人税等の支払額	△917,192	△1,334,309
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,606,931	△34,916
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,521,869	△1,824,458
有形固定資産の売却による収入	2,291	491
無形固定資産の取得による支出	△177,596	△219,444
敷金及び保証金の差入による支出	△53,208	△45,137
敷金及び保証金の回収による収入	63,797	70,052
その他	△67,008	△64,164
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,753,592	△2,082,660
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,650,000	1,400,000
セール・アンド・リースバックによる収入	1,756,883	940,241
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△858,318	△1,146,599
自己株式の取得による支出	△47	△113
配当金の支払額	△849,200	△1,188,879
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,699,315	4,648
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,967	30,019
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,556,622	△2,082,908
現金及び現金同等物の期首残高	13,181,317	18,705,243
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,737,939	16,622,334

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当社グループの店舗は感染予防対策を万全にした上で営業をしておりますが、オミクロン株の感染が小学生以下のお子様まで広がったため、撮影のキャンセル数が例年と比較して増加し、業績に影響がありました。しかしながら、提出日現在において感染状況は収束に向かっており、七五三シーズンが含まれる第3四半期以降は業績に影響がないと仮定し、固定資産の減損、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

なお、将来における実績値に基づく結果が、これらの見積り及び仮定と異なる可能性があります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、撮影取引の一部について履行義務の充足時点を見直しております。また、従来は付与したポイントの利用に備えるため、将来利用されると見込まれる額をポイント引当金として計上し、ポイント引当金繰入額を販売費及び一般管理費として計上しておりましたが、顧客への商品販売に伴い付与するポイントについて、当該ポイントが重要な権利を顧客に提供する場合、付与したポイントを履行義務として識別し、収益の計上を繰り延べる方法に変更しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及的に適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、利益剰余金の当期首残高は45,007千円減少しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」に表示していた「ポイント引当金」の一部を、第1四半期連結会計期間より契約負債として「流動負債」の「その他」に含めて表示しております。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用しております。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年3月1日 至2021年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,529,660	30,084	17,559,744	—	17,559,744
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	13,681	2,125,587	2,139,269	△2,139,269	—
計	17,543,342	2,155,672	19,699,014	△2,139,269	17,559,744
セグメント利益	1,700,645	266,848	1,967,493	△342,780	1,624,713

(注) 1. セグメント利益の調整額△342,780千円には、固定資産の調整額等△224,470千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△118,309千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「写真事業」セグメントにおいて、店舗の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては37,324千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自2022年3月1日 至2022年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,340,024	41,037	16,381,062	—	16,381,062
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	13,281	991,816	1,005,097	△1,005,097	—
計	16,353,305	1,032,854	17,386,160	△1,005,097	16,381,062
セグメント利益	149,620	4,952	154,572	△66,603	87,968

(注) 1. セグメント利益の調整額△66,603千円には、固定資産の調整額等61,169千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△127,773千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「写真事業」セグメントにおいて、店舗の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては63,442千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。